

徳島県立城ノ内中等教育学校

School guide 2022



Let's make our dreams come true
at Johnouchi!

教育方針

高い志をもって 社会の平和と発展に 貢献できる人材の育成

徳島県立城ノ内中等教育学校は、6年間の計画的・継続的な教育を展開することで、生徒たちの自主性や協調性を育てていながら個性や創造性を最大限伸ばしていきます。

めざす生徒像

人間性

社会貢献の自覚をもち、
仲間と共に学び合い、
向上していく人間性豊かな生徒

国際性

多様な文化・価値観を尊重し、
自己の考えや意思を表現できる
国際性豊かな生徒

創造性

科学技術に関心をもち、
主体的に考え、
追究することができる
創造性豊かな生徒



Let's make our dreams come true at Johnouchi !! (城ノ内で夢をかなえよう)

めざす学校像

- 世界に通じるグローバル人材の育成
- 進学面において本県中等教育を牽引する学校づくり

その実現のため、私たちは次の5つを学校の特色としています。

- 学力向上はもとより、県内全域から集まる仲間と共に、多彩な学校行事や部活動等を通して、豊かな人間性、国際性、創造性を育みます。
- 難関大学・学部をはじめ、希望する進路に適した教育課程の編成や、将来を考える「未来を拓く講演会」の開催など、一人ひとりの夢の実現をサポートします。
- うっちな体験塾やゴルフ研修など本校独自の体験的活動、また「エシカル消費」の取組を推進し、協働の精神と社会に貢献する意欲や態度を養います。
- 海外語学研修や国内外の中高一貫教育校との交流を通して、高いコミュニケーション能力をもち、グローバル社会に対応できる人材を育てます。
- 学びの原点となる好奇心を大切に、「総合的な学習の時間」・「総合的な探究の時間」のプレゼン発表会の実施や全国規模のコンクール等にチャレンジすることで、探究心と科学的思考力を育成します。

「学力分野のリーディングハイスクール」指定校

- ◆ 週33時間(前期課程)・週35時間(後期課程)授業
- ◆ 先取り学習

授業時間の増加により、高度化した教育内容に余裕をもって対応することができ、学習内容の理解・定着が向上します。また、前期課程3年生からは、後期課程の学習内容を一部先取りして、授業を行います。

ICT機器の積極的活用

- ◆ CALL(語学学習支援)システム

英語の「読む・聞く・話す」技能の向上を図り、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上を図っています。

- ◆ 電子黒板

すべての教室に電子黒板やプロジェクターが設置され、1人1台端末を活用した、アクティブで質の高い授業が行われています。



豊かな人間性



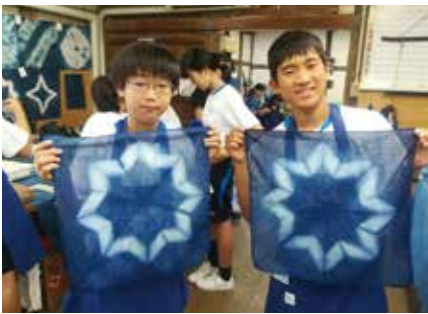
1・2年
[基礎期]

自己を知り、
他者を知ることを通して
寛容さや思いやりをもつとともに、
自律した態度を身につける。

3・4年
[充実期]

○ 興味・関心を高める体験

城ノ内では、夏季休業中に「うっちーな体験塾」を実施しています。普段の授業では学べない、教科の枠を超えた体験を通して、さまざまな分野への興味・関心を高めていくことを目的としています。毎年、アイデアにあふれた講座を開設しています。



● 藍染め体験



● 箏にチャレンジ



● 古代体験



● 蒸しケーキを作ろう



● 絵本作家になろう



● 徳島文理大学薬学部体験

○ 地域の活動



● 地域と連携した避難訓練



● 炊き出し訓練



● ひのみね支援学校との交流

社会に貢献し、仲間と共に学び合い、向上する

社会の発展に貢献しようという高い志をもち、自分の夢を追いかける。
仲間を大切に、切磋琢磨する。城ノ内はそのような生徒を育てたいと考えています。
そのためにさまざまな体験活動や平和学習などを通して、豊かな人間性を育てます。
また、ボランティア活動などを通して社会奉仕の精神や社会貢献への自覚を高めます。

他者との関わりの中で
互いを受容する力をつけ、
向上心をもって自らの使命や
社会での役割について考える。

5・6年
[発展期]

それぞれの興味・関心や特性を
社会との繋がりの中で生かし、
誠実さや感謝の心を
社会への貢献にかえる。

○ 幅広い 年齢集団での学び

学年間の円滑な接続を図るため、学習面だけでなく学校行事や部活動等においても生徒の交流を積極的に行い、教員も6年間にわたり生徒を見守っています。



● 異年齢での学びの様子



● 弓道部練習風景



● 音楽部定期演奏会



● 演劇部による公演



● 総合探究発表会(教育会館)

○ 絆を深める体験活動

城ノ内では、学校の授業では味わえない学びや経験を通して、学年・ホームルームの絆を深めることを目指しています。自分たちで計画を立ててレクリエーションを行ったり、学びを校内で発表したりと、友達と協力して主体的に学ぶことができます。城ノ内生のかけがえない思い出づくりの場でもあります。



● 1年生宿泊研修(淡路島)



● 3年生スキー研修(北海道)



● 5年生修学旅行



● 2年生平和研修(広島)



● 4年生イングリッシュ・ツアー(県内)(予定)



● 6年生クラス体験活動



豊かな国際性



1・2年
[基礎期]

郷土を愛し、
ふるさとを知ること为基础にして
多様性を尊重する態度を
身につける。

3・4年
[充実期]

○ 独自科目 「グローバルイングリッシュ」

グローバルな視点から異文化を受け入れ、英語の時間に習得した知識・技能を活用し、スピーチやディベートなど、主に「書くこと」や「話すこと(発表・やりとり)」におけるより高度で実践的なコミュニケーション能力を伸ばす教育を展開しています。



○ CALLシステム

CALL(Computer Assisted Language Learning)教室には、効果的な語学学習支援システムを導入しています。

生徒一人ひとりの力に合わせた検定のような個人レッスンや、離れた席同士でのペア学習ができます。



○ 即興型英語ディベート活動



(東京大学本郷キャンパスにて)

●第5回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会



●ディベート活動

本県初の本格的な「即興型英語ディベート活動」を実施しています。オンラインを活用し、他県の学校との練習試合を行いながら、各種全国大会、世界大会(アジア諸国)に出場しています。全国大会での優勝と世界大会上位入賞を目標に、6年間の継続したトレーニングを積み重ねています。

多様な文化・価値観を尊重し、自己表現できる

城ノ内では世界に通じるグローバル人材の育成をめざして様々な教育を行っています。広い視野をもち、多様な価値観を認めながら社会で活躍できるように国際理解教育を行っています。城ノ内独自の取り組みにより、グローバル社会を生きる子どもたちに欠かせない豊かな国際性を育てます。また、コミュニケーション能力を伸ばす教育により、英語で自己表現し、プレゼンテーションができる力も身につけます。

多様な価値観と
公平な目をもって世界を俯瞰し、
正しく自らの意見を
発信する力をつける。

5・6年
[発展期]

地球全体に目を向け、
価値観の対立を克服し、
より良い社会の実現のために
責任ある行動をとる。

○ 海外語学研修

オーストラリア・ケアンズ

3年生の希望者に2週間の海外語学研修を実施しています。

豊かな自然に恵まれた町で、親切なホストファミリーや現地校の生徒たちと交流し、充実した時間を過ごしています。



○ ヴィルヘルム・ラーベ中等教育学校との交流



2018(平成30)年「世界に広がれ!とくしま“歓喜の歌”合唱団」への参加をきっかけにドイツのニーダーザクセン州ヴィルヘルム・ラーベ中等教育学校との交流が始まりました。

ドイツの歴史や文化を学んだり、日本の伝統文化を伝えたりする活動を通して、日独の交流を深めています。





豊かな創造性



1・2年
[基礎期]

多様な体験から
好奇心を育み、
問題意識と論理的思考力をもって
物事を判断する。

3・4年
[充実期]

○ 豊かな創造力は、ものづくりから

技術・家庭科におけるアイデアロボットや木工作品の製作、お弁当やアイデアバッグ作り等の「ものづくり」を通して、自分自身で考えたものを創り出し、形にしていく楽しさを実感しています。毎年、創意工夫をこらした作品で全国大会にチャレンジし、さまざまな賞を手に入れています。

技術分野



●創造アイデアロボットコンテスト
日本産業技術教育学会 会長賞



●木工チャレンジコンテスト
厚生労働大臣賞

家庭分野



●「あなたのためのおべんとう」コンクール



●「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール
日本家庭科教育学会会長賞



●とくしまブランド de 簡単料理コンテスト
最優秀賞

○ 論理的な思考を育てる

論理的に思考し、表現できるよう、1人1台端末や電子黒板を有効活用した「対話的な学び」を実践し、授業での班活動や調べ学習の発表会などを行っています。また、本の魅力を伝えるビブリアオバトル(書評合戦)の全国大会にも出場しました。



●1人1台端末を活用した授業風景



●総合調べ学習発表

科学技術に関心を持ち、主体的に考え、追究する

多様な体験活動や探究的学習などを通して科学技術への興味・関心、豊かな創造性を育てます。授業でも、数学は体系的な指導を重視して基礎期では「代数」と「幾何」に分けて行い、理科は観察・実験を多く行うなど、科学的・論理的な思考力・表現力の育成に力を入れています。全国大会や全国コンクールなどに積極的にチャレンジし、数学検定や漢字検定などに継続的に取り組むことで、着実に力をつけています。

それぞれの興味・関心をもとに主体的に考える力を持ち、他者と協働する中で、粘り強く試行錯誤を繰り返す。

5・6年
[発展期]

体験や学びから得た知識を課題解決へと結びつけ、新しい価値を社会に発信する行動を起こす。

○ 修学旅行フィールドワーク



修学旅行中のプログラムのひとつとして、大学・企業訪問、社会文化施設見学があります。自分たちの興味・関心や進路希望にそって行き先を決め、現地で聞き取り調査や体験活動を行います。内容は後日レポートにまとめ、進路についてより深く考える機会とします。また、この経験を総合的な探究の時間での研究テーマの選定に役立てます。

○ 科学的な思考を育てる

毎年、科学の甲子園ジュニアにチャレンジしています。県代表として全国大会にも出場し、全国からの出場者たちと戦い、優良賞を受賞しました。

また、夏季休業中のうちーな体験塾でも、科学的思考が培えるさまざまな講座を開設しています。



● 科学の甲子園ジュニア



● うちーな体験塾

○ 課題研究・実践・発信

県内の高校をリードする立場で、「エシカル消費」推進研究に取り組み、外部団体と共にイベントを企画・実践したり、全国コンクール等で成果を発表したりしています。



● エシカルツリー



● 課題研究ポスターセッション



● エシカル消費アプリ講座



● スーパーオンリーワンハイスクール事業
認定証授与式

6年間の学習スタイル

充実した学習時間

前期課程：週33時間、後期課程：週35時間

英語・数学・理科に重点を置いたカリキュラム



6年間を2年間ずつ基礎期・充実期・発展期の3期に区分し、それぞれの発達段階に応じて重点の置き方を変え、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、応用力を養い充実した進路指導を行います。

また、英語・数学・国語・理科の4教科については、3年生から後期課程の学習内容を一部移行(先取り学習)し、一貫性のある学習スタイルのもと計画的・継続的な指導を行います。特に、英語と数学においては、習熟度別授業を行い、よりきめ細かな指導を行っています。

教育課程の概要

前期課程 (週33時間)			後期課程 (週35時間)		
1年	2年	3年	4年	5年	6年
基礎期		充実期		発展期	
○語学学習：前期課程において公立中学校の約1.5倍の英語の授業時間を確保					
○進路学習：6年間一貫して将来の進路を考えるキャリア教育科目「未来設計」の設定					
○特別活動：リーダーシップや協調性を育成する異年齢集団による学校行事					

毎日の授業で勝負

＝生徒も先生も、毎日の授業に「真剣勝負」で臨んでいます

生徒の皆さんにとっては、毎日の授業が一番大切です。本校では「学力向上検討委員会」を設け、よりよい授業・よりわかる授業をめざし、さまざまな取組をしています。

その1

「わかる授業」をめざして、研究授業や授業研究会を実施し、授業力アップを図っています。

その2

「学校総合評価」として、生徒が授業を受ける自分の態度をチェックすると同時に、すべての先生の授業を評価します。

習熟度別少人数授業

後期課程の先取り学習が始まる3年生の英語・数学の授業から「習熟度別少人数授業」を導入し、「わかる授業」の実践を通して意欲を高め、すべての生徒の学力を最大限に伸ばす指導をしっかりと行います。

進路希望をかなえるために、充実したガイダンス

学習実態調査、三者面談、学年別PTA、進路講演会、随時実施される個人面談、いろいろな機会・いろいろな形態で進路に関する疑問を解消し、自分の進路が決定できるようサポートしていきます。

放課後の充実した自主学習

自主学習のために、早朝や放課後、会議室・図書館・進学資料室を開放しています。図書館には、個人ブースが約40あり、また、ゆったりとした大きな学習机も、図書館いっぱいたくさん並んでいます。

進学資料室には、大学別の過去入試問題集や大学、短大、専門学校等の学校案内が揃いっばいところせましと並び、休み時間や放課後などいつでも閲覧できます。



■図書館の個人ブース



■図書館の学習机



■放課後の進学資料室

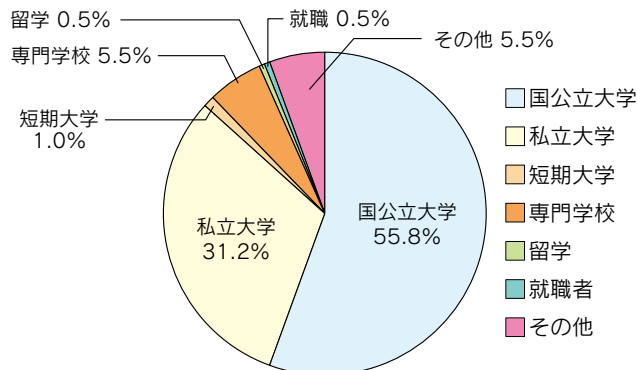
進路状況

	進 学										就 職			その他
	4年制大学			短期大学			準大学	専門学校	海外の学校	計	公務員	一般企業	計	
	国立	公立	私立	国立	公立	私立								
卒業生	99	12	62	0	1	1	0	11	1	187	1	0	1	11

合格状況 (過年度生を含む) ※R2より5クラス編制

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
東京大学			2	3	
京都大学	3	2	1	1	3
北海道大学		1	2	3	4
東北大学				1	
一橋大学					1
東京工業大学		1			
名古屋大学	2	5	3	5	4
大阪大学		1	2	7	5
神戸大学	8	6	5		4
九州大学	1		1	6	
* 難関 10 大学	14	16	16	26	21
広島大学	6	4	2	10	8
岡山大学	16	13	9	8	6
(県内大学)					
徳島大学	58	48	45	49	38
鳴門教育大学	4	7	3	7	5
国公立全体	174	156	131	185	127
国公立大医学科	6	9	7	7	3
* 私立大医学科	1		3		2
難関 10 大 + 医学科計	21	25	26	33	26
防衛医科大学校(看護)				1	2
防衛大学校	2	1	1		1
文科省所管外大学等	2			1	1

令和2年度(R3年3月卒)卒業生(199名)の進路



年 度	H28	H29	H30	R1	R2
早稲田大学	5	4	2	8	4
慶應義塾大学	1	1		2	2
上智大学		2			1
関西学院大学	13	10	10	10	7
関西大学	16	9	9	9	5
同志社大学	20	12	8	15	14
立命館大学	35	26	13	23	23
(県内大学)					
四国大学	32	36	24	20	26
徳島文理大学	23	29	31	29	19
私立大学全体	295	268	248	283	293

卒業生が語る城ノ内 (令和3年3月卒業生)



京都大学
薬学部
澤田 杏子
12期生
平成27年度入学

私は城ノ内を自分のやりたいことに全力になれる場所だと思っています。高校受験を気にすることなく勉強に部活動に、その他課外活動に打ち込める環境は、私にとって最高のものでした。城ノ内には学年にとらわれず、先取り学習を進めていくカリキュラムがあります。学校の授業を有効活用し、仲間と共に勉強に取り組めば大学受験で十分に戦える力が身につくはずです。また、前期課程の時から後期課程の部活動に参加できたり、先輩方から直接指導をいただいたりと、部活動に打ち込みたい方に良い環境が整っています。留学や各種講習会・大会などに積極的な生徒もたくさんいます。私は鳴門教育大学が小中学生向けに開講している理数・技術(情報)領域の講座に参加したり、短期留学を4度経験したりと、様々な活動に取り組み、多くの学びや発見を得ました。たとえ今は自由に活動ができないとしても、いつかその日が来た時にすぐ行動できる準備はしておくべきです。また、今だからこそできることも沢山あると思います。城ノ内では英語学習が活発で、意欲の高い生徒も多いため、あなたが本気になるれば周りの友達も先生方も全力でサポートして下さりますよ。あなたも城ノ内で美りの多い生活を過ごしてみませんか？



東京外国語大学
国際社会学部
中川 実咲
12期生
平成27年度入学

中等教育学校である城ノ内には先取り学習ができ、大学受験まで計画的に苦手をなくすことができるという魅力があります。それに加え英語の力を伸ばしてくれる場としても魅力的です。英語の先取り学習はもちろん、CALLシステムの導入や英検受験への積極的な呼びかけと対策などがされており、先生方の指導も手厚いです。城ノ内では同級生と普段の学校生活や部活動、沢山ある学校行事を通し、6年をかけて仲を深めることができます。部活動や大学受験では友人が互いに励まし高め合える心の支えとなってくれました。卒業して離れた今も城ノ内で出会った友人は私にとってかけがえのない存在です。先生方は普段の勉強や受験の相談はもちろん、校外での活動でも熱心に提案、サポートしてください。私は先生に声をかけていただいたことをきっかけに英語のディベート大会などに参加しました。先生には短期留学の相談にも乗っていただきました。周りの助言やサポートのおかげで様々な経験ができ、これらの経験は私が卒業後の進路を決めるきっかけにもなりました。城ノ内では沢山の大切な経験や学び、出会いがあり、とても充実した学生生活を送ることができました。皆さんのこれからの城ノ内での生活も思い出深いものになることを願っています。



鳴門教育大学
学校教育学部
齋藤 佑一郎
12期生
平成27年度入学

城ノ内の最大の特徴は6年間同じメンバーでともに過ごすことです。1年生から6年生までの交流も豊富で幅広い人間関係を築くことができます。城ノ内では、部活動や様々な楽しい学校行事もたくさん待っています。一番の目玉は、なんといつでも城ノ内祭です。1年生から6年生までが一緒に力を合わせて作り上げていきます。3日間で開催される城ノ内祭は盛り上がること間違いありません。他にも修学旅行や球技大会など楽しい行事がたくさんあるので、楽しみにしてください。城ノ内では勉強は欠かせません。前期課程の頃から先取り学習をし、後期課程では夜遅くまで学校に残り大学受験に向けて勉強しました。後期課程になっても前期課程の時にお世話になった先生に指導してもらえることは城ノ内でしか体験できないことだと思います。私は6年間で生徒会活動や海外語学研修に参加し、部活動ではキャプテンを務めさせてもらいました。私が一回りも二回りも成長できたのは多くのことに挑戦してきたからだと思っています。みなさんにも城ノ内で多くの挑戦をしてほしいと思います。城ノ内での6年間は一生の思い出になるはずです。

充実した学校生活

城ノ内生の一年



●4月 対面式



●4月 クラス体験活動



●5月 AED講習



●4月 入学式



●4月 宿泊研修



●5月 授業参観



●5月 平和研修

4月

始業式・入学式
対面式
宿泊研修〈淡路島〉(1年生)
クラス体験活動(6年生)

5月

授業参観・PTA総会
防災避難訓練
AED講習(1年生)
中間考査
生徒総会
平和研修〈広島〉(2年生)

6月

幼児触れ合い体験学習(3年生)
水泳実習(1~3年生)
修学旅行(5年生)

10月

中間考査
学校公開

11月

三味線授業(1~3年生)
校外体験活動(1年生)
職場体験(2年生)
生徒会役員選挙

12月

期末考査
球技大会
終業式



●11月 三味線授業



●11月 職場体験



●11月 職場体験



●12月 球技大会



●11月 校外体験活動



●11月 職場体験



●11月 職場体験

●6月 幼児触れ合い体験学習



●6月 修学旅行



●9月 体育祭



●9月 文化祭



●6月 水泳実習



●8月 うっちーな体験塾



●9月 体育祭

7月

期末考査
球技大会
終業式

8月

うっちーな体験塾(1~3年生)
オープンキャンパス参加(4~6年生)
海外語学研修
始業式

9月

城ノ内祭
〔前日祭・文化祭〕
体育祭

城ノ内は
ココ!

本校のイメージキャラクター
うっちーな



1月

始業式
予餞会

2月

阿波踊り講座(1~3年生)
合唱コンクール(1~3年生)
学年末考査

3月

卒業式(6年生)
宿泊研修(北海道)(3年生)
総合探究発表会
人権教育映画会



●2月 阿波踊り講座



●3月 卒業式



●3月 宿泊研修



●1月 予餞会



●2月 合唱コンクール



●3月 宿泊研修



●3月 総合探究発表会

部活動を通じた 仲間づくり

県下から集まった仲間と共に部活動に励み、心身ともにたくましく成長する城ノ内生。1年生から6年生まで合同で練習している部もあり、それぞれのコンクールや大会での活躍がお互いの刺激となっています。



●陸上競技



●剣道



●軟式野球

●バドミントン



運 動 部

●バレーボール



1～3年
前期課程

- 弓道
- 剣道
- サッカー
- テニス
- バスケットボール
- 陸上競技
- 軟式野球
- フェンシング

4～6年
後期課程

- 弓道
- 剣道
- 硬式野球
- サッカー
- テニス
- 登山
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- フェンシング
- 陸上競技



●登山

●バスケットボール

●弓道



●サッカー



●テニス



●フェンシング

●書道



●百人一首

●パソコン



文化 部

1~3年
前期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 吹奏楽
- パソコン
- 書道
- 美術
- 技術
- 百人一首

4~6年
後期課程

- 囲碁・将棋
- 英会話
- 演劇
- 音楽
- 華道
- 茶道
- JRC
- 写真
- パソコン
- 書道
- 美術
- 文芸・放送
- レベラーズ
- 百人一首



●英会話

●茶道



●音楽(弦楽)



●華道



●美術



●音楽(吹奏楽)



●囲碁・将棋



●文芸・放送



●演劇



●レベラーズ

●技術

城ノ内が分かる 7つのQ&A

1

中等教育学校とはどういう学校ですか。

本校は、2020年(令和2年)に中等教育学校に移行しました。中等教育学校とは、中学校及び高等学校で行う教育を、一つの学校として6年間で一体的に行う学校のことです。中学校に相当する3年間は「前期課程」、高等学校に相当する3年間は「後期課程」といいます。生徒募集は前期課程でのみ行います。城ノ内中等教育学校では、城ノ内中学校・高等学校で培ってきた教育を継承・発展させ、6年間を見据えた新たな教育課程でのきめ細やかな学習指導・教育活動を行っています。



2

「学力分野のリーディングハイスクール事業」での具体的な取組は何ですか。

本校は、2013年(平成25年)に、徳島県教育委員会から「学力分野のリーディングハイスクール事業」の指定を受けました。中高一貫教育校のメリットを最大限に活かして、進学面等において本県中等教育を牽引する学校づくりをめざし、次のような取組を行っています。

- ① 学習時間を充実させるために、前期課程では、週当たりの授業時数を33時間に増やしています。(各学年4時間増)
- ② 後期課程では、週当たりの授業時数を35時間に増やすとともに(各学年2時間増)、単位制を導入し、少人数による進路別・習熟度別授業を展開しています。
- ③ 英語・数学・理科・国語については、前期課程3年生から、後期課程の学習内容を一部移行(先取り)して学習しています。
- ④ グローバル人材の育成をめざし、本校独自科目「グローバルイングリッシュ」を開設し、生きて使える英語学習を行うとともに、CALL(語学学習支援)システムを活用し、英語の4技能をバランスよく学びつつ、英語検定などにも積極的に挑戦しています。



3

「先取り学習」はどのように行うのですか。

本校は、学力分野のリーディングハイスクールとして、特に、外国語及び理数教育に力を入れています。英語・数学・理科はもちろんのこと国語についても、学習指導要領に定められた標準時間よりも多い時間を配当し、1年生から計画的に通常の進度に先んじて学習を進めます。前期課程3年生からは後期課程の学習内容を先取りして指導します。特に、後期課程では、理科の必須科目が増え授業時数の確保が課題となっていますが、本校では、先取り学習により、ゆとりを持って各科目を学ぶことができます。



4

大学進学に対して、どのような指導を行うのですか。



本校は、確かな学力の育成と進路希望の達成に全力で取り組んでいます。前期課程・後期課程の6年間を見通した切れ目のない組織的・計画的な指導のもと、生徒は高い目標を持ち、その実現に必要な学力が身に付くよう切磋琢磨しています。特に、後期課程では、難関大学への進学など、生徒一人ひとりの希望に応じた進路指導を行っており、具体的には、進路別の授業、小論文及び面接の指導、個別指導の充実など、きめ細やかな指導を展開しています。

5



城ノ内中等教育学校と他の私立中学校等を併願(複数の学校を受験)することはできますか。

可能です。各学校にはそれぞれの教育方針や特色がありますので、よく研究し、自分に合った学校に進んでください。

6

城ノ内中等教育学校の入学者選抜では、地域別に入学者数を決めているのですか。また、男女別の定員はあるのですか。

本校は、県内全域を通学区域としているため、地域別に入学者数を決めることはありません。また、男女別の定員も定めていません。



7

城ノ内中等教育学校の前期課程を修了した後、他の高等学校に進学することはできますか。



本校は、6年間の計画的・継続的な教育を行ってまいりますので、前期課程を修了した後は、後期課程に進級することが原則です。ただし、

他県への一家転住など、やむを得ない場合は、他の高等学校に進学することは可能です。他の高等学校への進学を希望した場合は、城ノ内中等教育学校後期課程への進級はできません。



在校生が語る城ノ内

Sさん(3年生)

城ノ内中等教育学校は、自分の意見が発表しやすい雰囲気のある学校です。県内からたくさんの人たちが集まるので、毎日いろいろな意見を聞くことができとても楽しいです。授業中も、1人1台のタブレット端末を有効活用した意見交換もできるので、とても充実した学校生活を送ることができています。

Nさん(2年生)

皆さんは今、学習についていくことや7限授業など、勉強に対しての様々な不安を抱いていると思います。私もそうでした。しかし実際に、学校で過ごしてみると、不安を感じさせないほど面白く、楽しいことを見つけるきっかけにもなりました。勉強を1つのチャンスとしてとらえてみるのもいいかもしれません。これからの道が開けるはずですよ。

Oさん(2年生)

城ノ内での1年間を過ごしてみて、自分で時間を見つけて学習したり、効率の良い勉強方法を身につけたりすることができました。部活動などとの両立で初めの頃は大変でしたが、きっとこのような努力と経験は今後役に立ち、良い結果につながっていくと思います。

Yさん(2年生)

私たちは部活動を頑張っています。毎日仲間と一緒に練習ができて楽しいです。中等教育学校の利点を活かして、後期課程の先輩との合同練習も行っているので、自主的に行動できるようになりました。

令和4年度 徳島県立中等教育学校 生徒募集選抜実施要項

城ノ内中等教育学校概要

1 募集定員及び出願資格等

- (1) 募集定員 140名
- (2) 出願資格
 - ア 保護者の現住所が徳島県内にあり、令和4年3月に小学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校前期課程(以下「小学校」という。)を卒業又は修了する見込みの者
 - イ 特別な事情があり、徳島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)が出願を許可した者
- (3) 通学区域 県内全域

2 出願

- (1) 受付期間
令和3年12月5日(日)から7日(火)まで
なお、受付時間は午前9時から午後5時までとし、最終日に限り正午までとします。
- (2) 提出書類
出願は、保護者が次の書類等を徳島県立城ノ内中等教育学校長に提出して、直接行うものとし、
※郵送の場合は、書留速達・親展で12月7日(火)正午までに必着です。
ア 入学願書 イ 受検票 ウ 調査書 エ 選抜結果通知用封筒
オ 連絡用封筒
- (3) 提出先
徳島県立城ノ内中等教育学校
〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号
- (4) 書類等の作成
 - ① 入学願書
入学考査料として徳島県収入証紙(2,200円分)と、出願前3か月以内に撮影した志願者の顔写真(縦4cm×横3cm)を貼ってください。
 - ② 受検票
入学願書に貼ったものと同じ写真を貼ってください。
 - ③ 調査書
在籍する小学校の校長(以下「小学校長」という。)が作成し、調査書用封筒に厳封したものを、開封せずに提出してください。
 - ④ 選抜結果通知用封筒
選抜結果通知用封筒には、404円分の切手を貼ってください。
県外の場合は、速達料金を含め、664円分の切手を貼ってください。
 - ⑤ 連絡用封筒(本校のみ必要)
連絡用封筒には、84円分の切手を貼ってください。面接予定時間についての通知を送付するためのものです。
- (5) 受検票の交付
出願書類等を受理した後、直ちに志願者に受検票を交付します。
- (6) 県外からの出願
保護者とともに県内に転住することが明らかである場合など、特別な事情がある者は、出願に先立って、教育委員会の許可(入学志願許可書の交付)を受けなければなりません。

3 検査の実施

- (1) 実施日及び会場
令和4年1月8日(土) 徳島県立城ノ内中等教育学校
- (2) 日程

受	付	8時30分 ~ 9時20分
点	呼・注	9時30分 ~ 9時45分
検	査 I	10時00分 ~ 10時45分 (45分間)
検	査 II	11時15分 ~ 12時05分 (50分間)
面	接	13時05分 ~

(3) 検査内容及び方法

① 適性検査

自己の考えや意見を表現する力や、課題を発見し、追究し、解決する力など、小学校教育において身に付けた多様な力をみるために、次の検査を行います。

検査Ⅰ	資料等から読み取った内容や情報をもとに、自己の考えをまとめ、文章等で表現する。
検査Ⅱ	生活に関連する事柄等について、課題を見だし、多様な解決方法を考え、その解決を図る。

② 面接

志願者の目的意識、意欲や長所をみるために、集団面接を行います。

4 選抜の方法

調査書、適性検査の成績及び面接の結果を資料として、志願者の意欲や適性等を総合的に判定し、入学予定者を選抜します。

5 選抜結果の通知

受検者には令和4年1月15日(土)に、小学校長には令和4年1月17日(月)に、それぞれ簡易書留郵便によって通知します。

6 入学予定者の手続

(1) 入学確約書の提出

ア 入学予定者の保護者は、提出期間内に「入学確約書」を徳島県立城ノ内中等教育学校長に直接提出しなければなりません。

イ 受付期間は、令和4年1月17日(月)から1月19日(水)までとします。

なお、受付時間は午前9時から午後5時までです。

(2) その他

入学予定者が保護者の転勤等やむを得ない事情により、入学を辞退しようとする場合、その保護者は速やかに「入学辞退届」を徳島県立城ノ内中等教育学校長に提出しなければなりません。

7 繰上合格者の決定

選抜結果の通知後に入学辞退者が生じた場合は、繰上合格候補者に入学の意思を確認した上で、繰上合格者を決定します。

8 適性検査及び調査書の得点の開示

受検者は、選抜の結果について、徳島県個人情報保護条例(平成14年徳島県条例第43号)第26条第1項の規定に基づき、口頭による開示請求を行うことができます。

(1) 受付期間・受付時間

受付期間は、令和4年1月17日(月)から2月16日(水)までとします。

ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く、平日の午前9時から午後5時までです。

(2) 開示の内容

開示の対象となる個人情報の内容は、適性検査及び調査書の得点です。

(3) 受付場所等

受検者が、本人であることを確認できる書類(受検票等)を徳島県立城ノ内中等教育学校に持参し、開示の請求をしてください。

※以上の内容について、詳しくは「令和4年度 徳島県立中学校及び徳島県立中等教育学校生徒募集選抜要項」をご覧ください。

徳島を思い 世界に羽ばたく



最寄りの交通機関

- 徳島市営バス①
東田宮下車 徒歩10分
- 徳島バス②
吉野本町6丁目下車
徒歩10分
- JR 佐古駅下車 徒歩20分

●お問い合わせ

徳島県立城ノ内中等教育学校

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目9番30号 TEL : 088-632-3711・3712 FAX : 088-633-0126
URL : <https://johnouchi-ss.tokushima-ec.ed.jp> E-mail : johnouchi_ss@mt.tokushima-ec.ed.jp